

甘藷・サトイモ・ニンジンにも!

安全で快適な操作性で
優しく甘藷、サトイモやニンジンを収穫します。



甘藷

加工用原料の甘藷の収穫作業。
甘藷の諸更がきれいに外れて選別コンベヤに上がってきた甘藷は、楽に機上選別ができます。

サトイモ

サトイモ収穫は、選別者が選別コンベヤ上で親イモと子イモを分離させることで掘ることができます。

ニンジン

ニンジンの収穫は、別売りアタッチ「ニンジン用堀取刃」を堀取部に装着します。ニンジンには、予め茎葉をチョッパ等により処理したニンジン収穫します。

主要諸元

型	式	TPH179V26
種	類	乗用・自走式 掘取式 タンカー型
全	長	5,700mm
全	幅	2,500mm(作業時4,700mm)
全	高	2,900mm(作業時3,200mm・運搬時2,750mm)
質	量	5,600kg
エ	ン	ジン
定	格	出力/回転数
変	速	段数
走	行	速度
作	業	能率
履	帯	の種類・幅
掘	取	条数
掘	取	刃
リ	ー	ドローラ
コ	ー	ルタ
茎	葉	処理方法
メ	イ	ンタンク
小	玉	タンク
く	ず	芋タンク

●本仕様は改良・その他により予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

ホームページ <http://www.toyonoki.co.jp>

農作業の安全は東洋農機の願いです。

わたくしたちは アグリパートナーです。



東洋農機株式会社 〒080-2462 帯広市西22条北1丁目2番5号
TEL0155-37-3191・FAX0155-37-5399

小清水営業所 〒099-3641 斜里郡小清水町字小清水元町1丁目13-11 TEL (0152) 62-2309
美幌営業所 〒092-0027 網走郡美幌町字稲美220-14 TEL (0152) 73-4158
美瑛営業所 〒071-0215 上川郡美瑛町扇町232番地 TEL (0166) 92-1368
三川営業所 〒069-1144 夕張郡由仁町本三川674 TEL (0123) 86-2436
俱知安営業所 〒044-0077 虻田郡俱知安町字比羅夫60-1 TEL (0136) 22-2236

①R7.10(500)

自走式ポテトハーベスタ

TPH179

ソフトタッチで
高品質な収穫を

ゴムクローラにより抜群の
機動性を誇ります!



簡単操作



●走行レバー、スイッチ類、計器類は扱いやすさを最優先に配置。走行速度はスロットルバルブによりエンジン回転を調整するだけでOK。走行部の駆動はHST(油圧無段階変速方式)なので、走行レバーの操作ひとつで楽に運転が出来ます。走行速度はスロットルレバーの傾きでコントロールをします。エンジン回転は、コンベヤの回転速度のコントロールに影響します。

手元でラクラク



●運転席右側には各部操作レバーを配置。各部の操作は全て油圧制御で、簡単に操作が出来る配置になっています。

作業性抜群



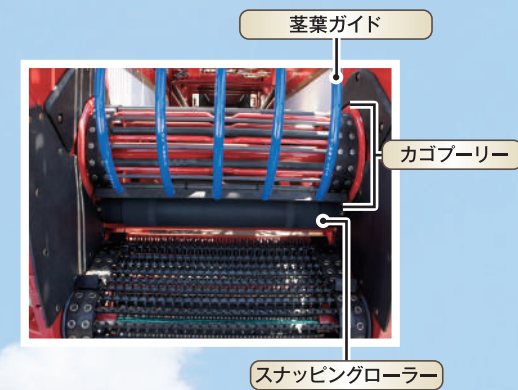
●末掘取りの畦間を通過する左側のゴムクローラは機体を油圧でリフトさせることで、畑でも庭先でも簡単に油圧シリンダーでスライドさせて畦に合わせることが出来ます(クローラは最大500mmスライド可)。適応畦幅は72~85cmとなります。また、ゴムクローラの駆動は油圧モーターによる無段階変速(HST方式)のため、軟弱圃場で良好な作業性を発揮します。

自動高低構造



●リードローラは深型を装備しています。リードローラは掘取り深さを一定に保ち、畦の起伏に沿った自動高低掘取りが可能です。そのため馬鈴薯・甘藷の損傷や掘残しが少なく、運転者が最初に掘取り深さを設定したら状況が変化しない限り、掘取り深さを気にしないで作業することが出来ます。

茎葉分離



●最初に大きな茎葉は茎葉ガイドで第1コンベヤ最後のカゴブリーとスナッピングローラーの間に導かれ、コンベヤ下に挟み出されます。甘藷の場合は、ここで諸更(くぎ)が挟み取られます。

メインタンク 700kg

小玉タンク 100kg

くず芋タンク 150kg

ロータリーバケット

第1選別ローラ

ヘッジホッグクロスコンベヤ

第2選別ローラ

搬送・分離能力抜群

●次に、馬鈴薯・甘藷と残った茎葉、土砂等は大型のロータリーバケットによってハーベスタ上部へと送られます。ロータリーバケット搬送中に細かい土砂は分離され、圃場へと落下します。また、ロータリーバケットによって馬鈴薯・甘藷と一緒に上がってきた小さな茎葉は逆回転のヘッジホッグクロスコンベヤによって後方へと排出されます。この2段階の茎葉処理により、出荷・貯蔵上の不具合になるような茎葉は選別コンベヤ上にはほとんど上がってきません。

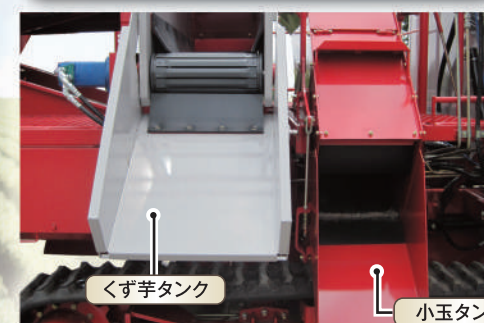


ラクラク作業



●選別コンベヤ部は広いステージを有し、4名の作業員が楽々と選別作業を行えます。選別コンベヤでは最初に、第1選別ローラによって土砂が分離され、分離された土砂は第1コンベヤ上へと落下します。続いて第2選別ローラによって馬鈴薯は製品・小玉・クズの3段階に自動的に分離され、最後の第2選別コンベヤ上で人の手によって最終選別が行われます。

選別重量によって調整可



●第2選別ローラ前列のローラにより、小玉規格以下の馬鈴薯がローラの間隙から落下し、下部バンカー型クズタンクに最大150kgまで貯留されます。排出はタンク底のアンローディングコンベヤを回転させて行います。次に、第2選別ローラ後列のローラにより、小玉規格の馬鈴薯がローラの間隙から落下し、下部小玉タンクに最大100kgまで貯留されます。排出は手でタンク底のダンパを開くことで行います。また、各選別ローラの間隙は馬鈴薯の種類・選別重量によって調整することが可能です。

大容量



●製品タンクは馬鈴薯・甘藷を最大700kg貯留することが可能です。また、選別コンベヤ端のウルトラシュートは選別コンベヤと製品タンクとの落差を少なくし、馬鈴薯・甘藷の損傷を最小限に抑えます。馬鈴薯・甘藷の排出は油圧モーターで製品タンク底のアンローディングコンベヤを回転させることで行います。

巻上シュート(別売)



●製品馬鈴薯をコンテナに排出する際は、馬鈴薯・甘藷への損傷が少ない別売の巻上シュートがおすすめです。コンテナへの注ぎ足しも見ながら作業できるため、状況に合わせた排出が可能です。